女性同窓生エッセイ一期一会
第 6 回 石黒久仁子さん（80 期）

１．関東同窓会との最初の出会いやきっかけ

関東同窓会には、大学卒業と同時のタイミングで加入をしていたかと思います。しかし、現在のように総会や新年会に参加をするようになりましたのは、割と最近、2016 年頃（だと記憶しています・・・）に、“翌年は私たち（80 期）も副当番だから”と仲の良かった同級生（原 久美さん）に声をかけて頂いたのが最初です。卒業後は皆それぞれに忙しく過ごしていたと思いますが、私たちの年代も 50 代になり少し落ち着いてきたのでしょうか、そこでたくさんの懐かしい友人達、初めてお目にかかる先輩方、後輩方に会うことができました。同窓会行事のみならず、プライベートでも、班活動の友人、同級生や同期の皆さんと楽しく親交を深めています♫。

２．関東同窓会に想うこと期待すること

上田高校の卒業生の皆さんは、諸先輩方含め、関東でお仕事されていらっしゃる、またお住まいの方が多くいらっしゃいます。高校時代の 3 年間には様々な思い出があり、関東同窓会は、そんな多感な時期や懐かしい場所を共有した皆さんとお会いすることができる素敵な場だと思います。今まで存じ上げなかったたくさんの素敵な女性の先輩にもお目にかかることができました。これからもゆる～くでも良いので、関東同窓会を通じてたくさんの皆さんとお会いしてお話しできればな、と思います。

３．高校時代一番の思い出

高校時代の思い出はたくさんありすぎて、“一番”を決めるのはとても難しいです！硬式テニス班での活動は確かに高校時代の時間の大半を使っていましたが、何と言っても、クラスのみんなとの色んな出来事のひとつひとつは今でも活き活きと思い出されます。18 歳といえばもうじゅうぶん大人ですが、大人になった今では反省しきり！ということもたくさんありました。個人的には、そんな私をご指導くださり、今に至る道を作ってくださったのは、間違い無く 3 年間 5 組の担任でいらっしゃいました飯島恵子先生のお蔭です。先生が若くしてお亡くなりになった年齢をゆうに超えた今、直接お会いしてお礼を申し上げることができないのはとても残念です。そんな複雑な思いも大切な思い出です。

４．近況　など

大学卒業後は企業での勤務、英国での留学などを経て、国内の大学で教育・研究活動を行なっています。そのような経緯で、現在の仕事のアカデミアに入りましたのは比較的遅く、仕事の上ではまだまだ勉強の毎日です。高校時代は硬式テニス班に所属していましたが、大学でもテニス部に所属し、相変わらず、‘自宅-駅-テニスコート-学食’の間を往復する日々でした。社会人になっても変わらず、プライベートや友人関係の主軸になっているのはやはりテニスで、‘もっと上手くなりたいなあ・・’と思いながら、テニスをして楽しく毎日を過ごしています。